

平成 30 年 12 月期 (第 56 期) 第 2 四半期決算のご報告

売上高 1,048 億 77 百万円 (前年同期比 9.4%増)
当期純利益 47 億 78 百万円 (前年同期比 5.6%減)

平成 30 年 12 月期 (第 56 期) 第 2 四半期 経営成績

	金額	率	前年同期比	予算差額	予算比
売上高	1,048 億 77 百万円	-	+9.4%	+17 億 44 百万円	+1.7%
売上総利益	227 億 21 百万円	21.7%	+9.6%	+4 億 31 百万円	+1.9%
販売費及び一般管理費	157 億 53 百万円	15.0%	+17.3%	△3 億 25 百万円	△2.0%
営業利益	69 億 68 百万円	6.6%	△4.6%	+7 億 57 百万円	+12.2%
経常利益	70 億 89 百万円	6.8%	△4.5%	+7 億 51 百万円	+11.9%
四半期純利益	47 億 78 百万円	4.6%	△5.6%	+5 億 50 百万円	+13.0%
1 株当たり四半期純利益	72 円 46 銭	-	△4 円 27 銭	+8 円 36 銭	-
1 株当たり中間配当金	18 円 50 銭	-	△1 円	+2 円	-
P B 売上高	215 億 83 百万円	20.6%	+7.8%	+1 億 25 百万円	+0.6%
設備投資額	88 億 79 百万円	-	+20 億 38 百万円	-	-

販売ルート別実績

	売上高			売上総利益率		
	実績	前年同期比	予算比	実績	前年同期比	予算比
ファクトリールート	832 億 71 百万円	+6.9%	+0.9%	21.3%	△0.1pt	+0.1pt
e ビジネスルート	147 億 42 百万円	+26.7%	+4.9%	25.3%	△0.3 pt	△0.3pt
ホームセンタールート	64 億 26 百万円	+9.1%	+5.8%	17.9%	+0.2 pt	+0.3pt
その他 (海外など)	4 億 37 百万円	+6.4%	△6.5%	20.1%	+0.5 pt	+0.8pt
全社合計	1048 億 77 百万円	+9.4%	+1.7%	21.7%	+0.1 pt	+0.1pt

売上高 1,048 億 77 百万円 / 前年同期比+9.4%

①ファクトリールート 832 億 71 百万円 (前年同期比+6.9%/+53 億 73 百万円) 【予算比+0.9%/+7.3 億円】
全国に 31 か所ある在庫保有支店の在庫アイテム数を 3 万アイテムに拡充する目標に向けて、市場のニーズに即した在庫拡充を進めることで得意先の利便性向上に努めています。

②e ビジネスルート 147 億 42 百万円 (前年同期比+26.7%/+31 億 4 百万円) 【予算比+4.9%/+6.9 億円】

{ 通販企業向け MROサプライ }	111 億 85 百万円 (前年同期比+31.2%/+26.6 億円)	【予算比+7.9%/+8.1 億円】
	35 億 57 百万円 (前年同期比+14.3%/+4.4 億円)	【予算比△3.3%/△1.2 億円】

 ⇒電子購買向けの販売。

③ホームセンタールート 64 億 26 百万円 (前年同期比+9.1%/+5 億 3 百万円) 【予算比+5.8%/+3.5 億円】
プロショップへの売上高 9 億円 (前年同期比+16.0%/+1.2 億円)

売上総利益 売上総利益率 21.7% / 前年同期比+0.1 ㊦ イト ※ () 前年同期比

NB 商品の価格改定が多く発生したことにより在庫の売上原価が低減し、NB 商品利益率は上昇。

【参考】NB 商品粗利率：18.0% (+0.1 ㊦ イト)

販売費及び一般管理費 **157億53百万円** / 前年同期比+17.3%、+23億28百万円 ※ () 前年同期比

- ①人件費 (+7.2%/+4.2億円) : 社員118名・パートタイマー124名増加
- ②運賃及び荷造費 (+19.5%/+4.3億円) : 備車料の増加 約1億3百万円
 [備車12台増便などの影響]
 運賃荷造費の増加 約3億33百万円
 [売上高増加による出荷量の増加の影響 約1億70百万円]
 [路線便業者の運賃値上げの影響 約1億円]
- ③減価償却費 (+18.9%/+2.4億円) : 物流センター「プラネット埼玉」建物、電気設備等 約1億44百万円
 商品データベース「ステラ」などのシステム 約1億23百万円

その他指標の報告 ※ () 前年同期比

- ①在庫数 : 34万3,500アイテム (+35,300アイテム)
- ②在庫ヒット率※ : 89.9% (+0.6ポイント) ※全受注のうち在庫から出荷した比率

平成30年12月期(第56期)業績予想 平成30年8月3日に業績予想修正を発表いたしました。

	通期				
	当初予想	業績予想修正後	率	前年比	当初予算からの増減額
売上高	2,100億円	2,130億円	-	+9.2%	+30億円
売上総利益	443億円	450億円	21.1%	+8.7%	+7億円
販売費及び一般管理費	310億円	314億円	14.7%	+15.8%	+4億円
営業利益	133億円	136億円	6.4%	△4.7%	+3億円
経常利益	135億50百万円	138億50百万円	6.5%	△5.0%	+3億円
当期純利益	90億50百万円	93億円	4.4%	△8.6%	+2億50百万円
1株当たり当期純利益	137円23銭	141円3銭	-	△13円25銭	+3円80銭
1株当たり配当金	34円50銭	35円50銭	-	△3円50銭	+1円
PB売上高	430億円	430億円	20.2%	+7.1%	±0円

(業績予想の修正について)

国内製造業において生産活動が拡大したことに加え、当社においては積極的な設備投資を継続したことにより、戦略的な在庫アイテムの拡充が加速し、お客様の利便性向上につながりました。その結果、売上高及び売上総利益が増加することが見込まれます。

売上高の増加に伴う出荷個数の増加や運賃の値上げの影響による運賃及び荷造費の増加などにより、販売費及び一般管理費の増加は予想されるものの、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益は、それぞれ当初の計画を上回る予想となりました。

MEMO

【発行責任者】トラスコ中山株式会社 執行役員 経営企画部長 中井 一雄

【本件問い合わせ先】経営企画部 広報IR課長 木村 好希、広報IR課 吉見 今日子(TEL.03-3433-9840/MAIL.info@trusco.co.jp)